

## 樽前山の火山活動解説資料（令和4年6月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1-①～⑥、図2～5）

7～9日に行った現地調査では、A火口、B噴気孔群、H亀裂東壁で高温状態が継続していたものの、前回（2020年6月）の観測時に比べてA火口温度及びH亀裂東壁の一部の地表面温度に低下が認められました。

監視カメラによる観測では、各火口の噴気の高さは火口縁上概ね100m以下で経過しました。

#### ・地震及び微動の発生状況（図1-⑦～⑨、図6）

火山性地震の回数は少なく経過し、主に山頂溶岩ドーム直下の深さ0km付近で発生しました。  
火山性微動は観測されていません。

#### ・地殻変動の状況（図7）

GNSS連続観測では、火山活動の高まりを示すような変化は認められません。

---

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』及び『電子地形図（タイル）』を使用しています。

次回の火山活動解説資料（令和4年7月分）は令和4年8月8日に発表する予定です。

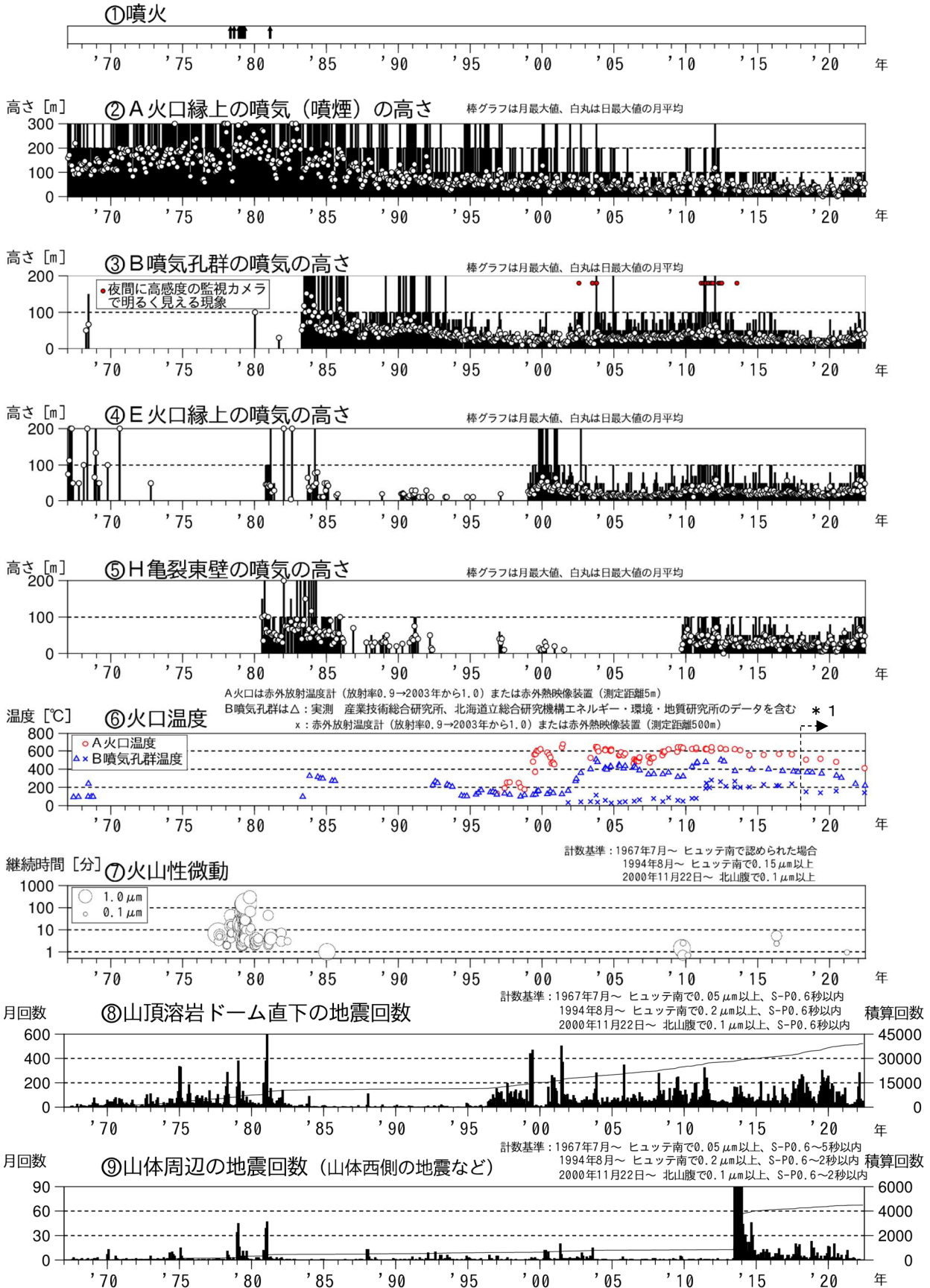


図1 樽前山 火山活動経過図（1967年1月～2022年6月）

2018年（\*1）の機器更新以降では、以前と比較して温度が低く観測される場合があります。



図2 樽前山 南側から見た山頂部の状況（別々川監視カメラによる）

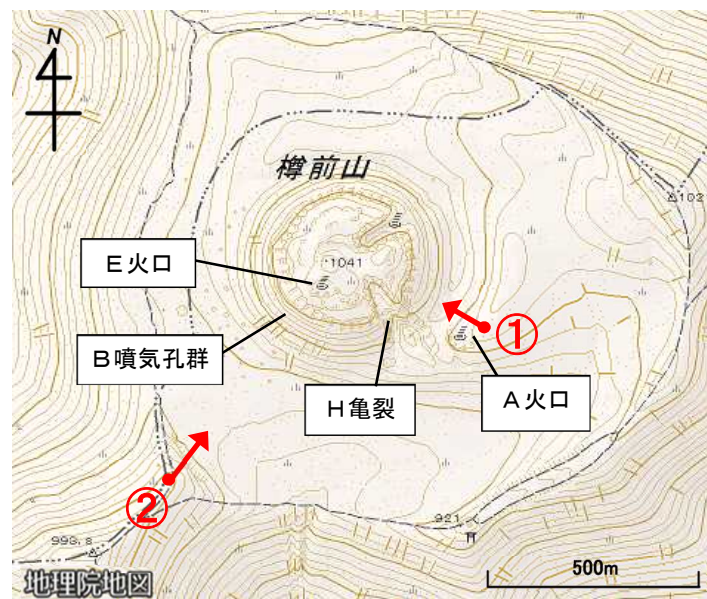


図3 樽前山 山頂溶岩ドーム周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影位置（矢印始点）と方向（矢印）

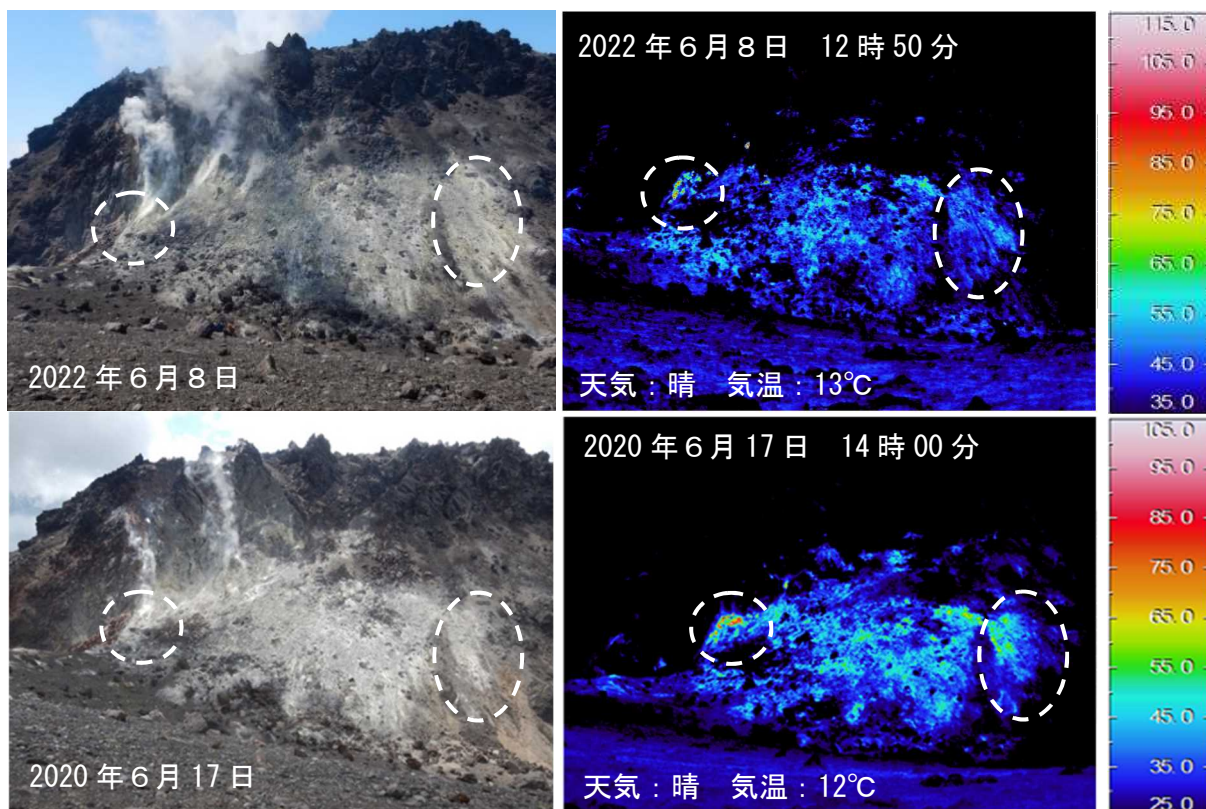


図4 樽前山 赤外熱映像装置によるH亀裂東壁の地表面温度分布の比較  
東側 (図3-①) から撮影

- ・ H亀裂東壁では、前回の観測 (2020年6月) と比べて破線部分で地表面温度にやや低下が認められました。

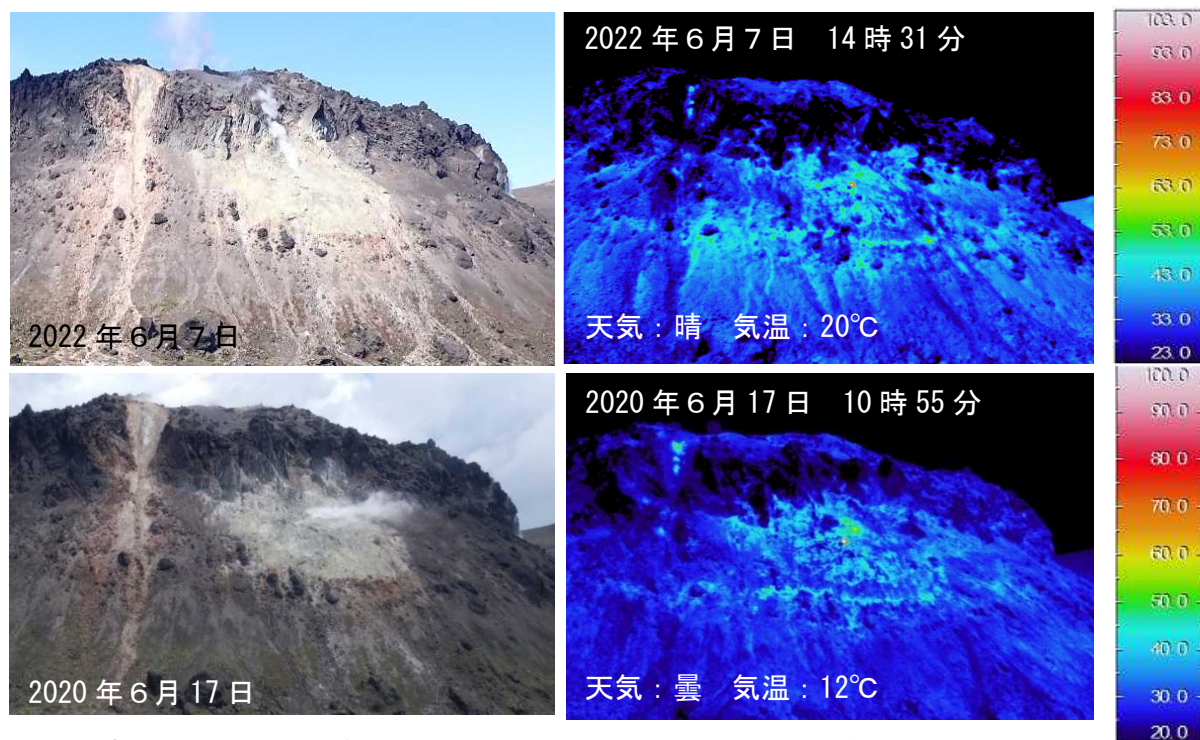


図5 樽前山 赤外熱映像装置によるB噴気孔群の地表面温度分布の比較  
南西側 (図3-②) から撮影

- ・ B噴気孔群では、前回の観測 (2020年6月) と比べて地表面温度分布に変化は認められませんでした。

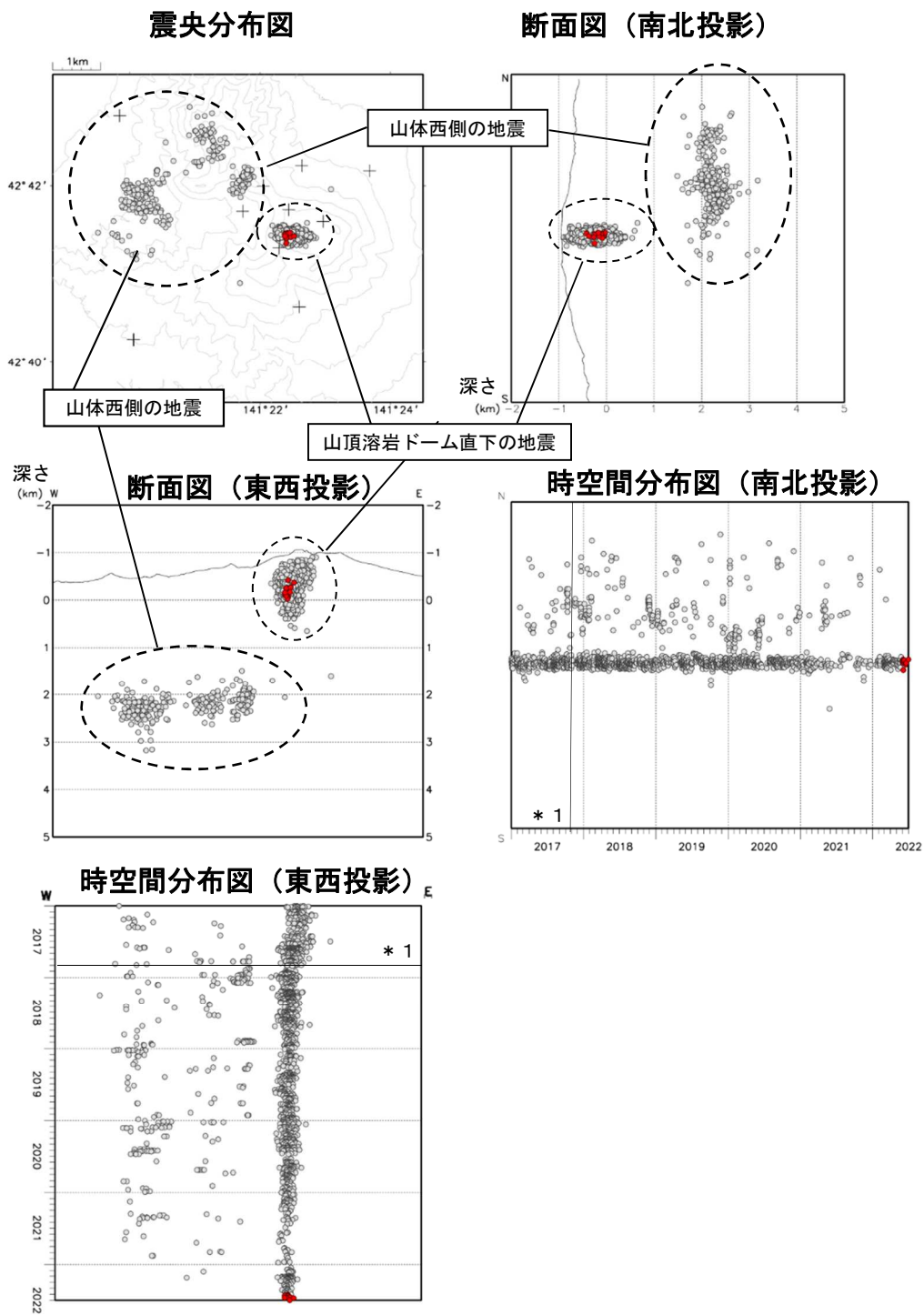


図6 樽前山 火山性地震の震源分布（2017年1月～2022年6月）  
 ○印：2017年1月～2022年5月の震源 ●印：2022年6月の震源 ＋印：地震観測点  
 2017年10月31日（\*1）以降、震源計算に利用する観測点を変更しています。

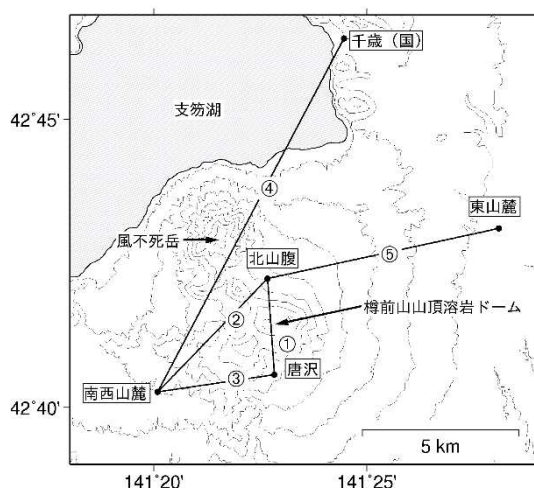
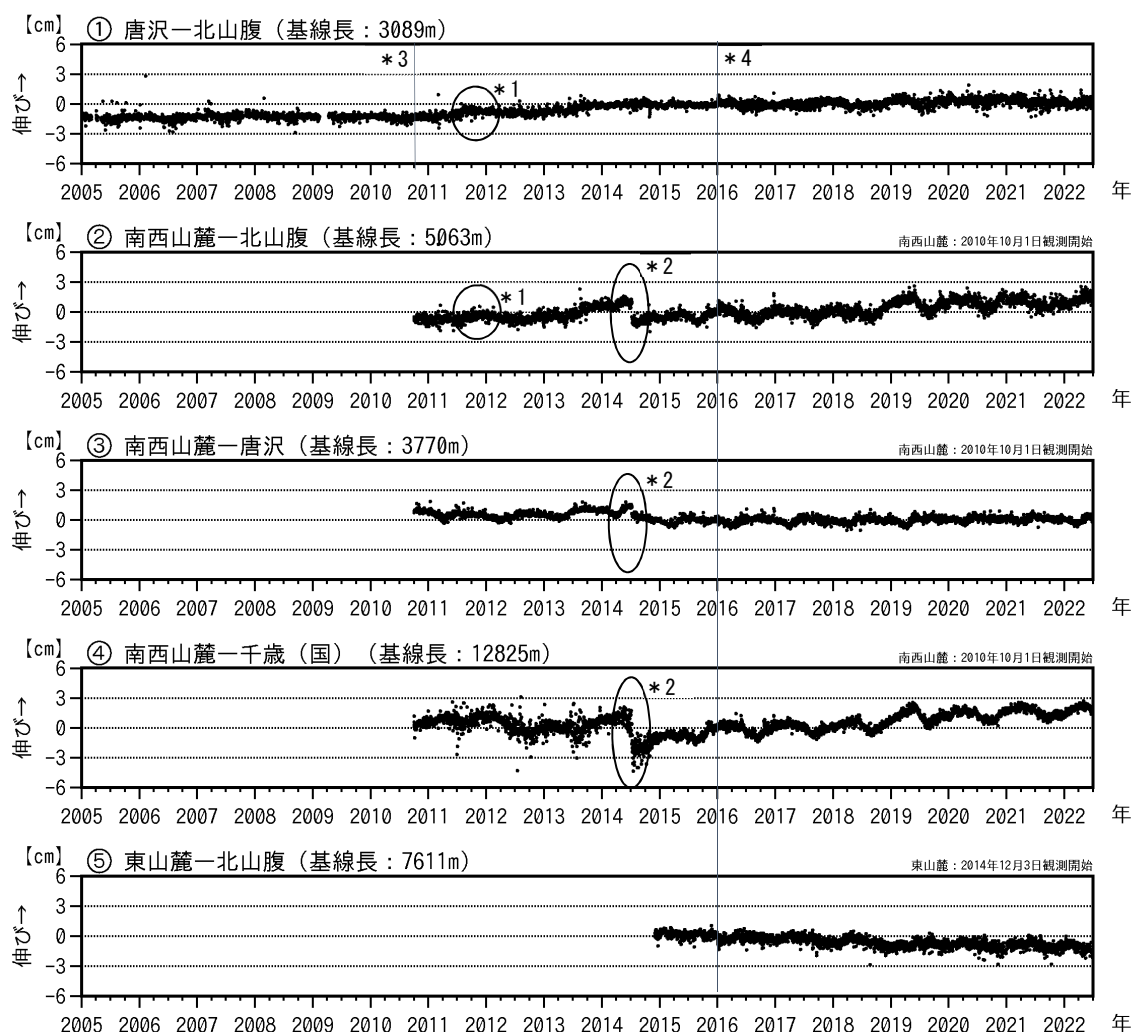


図7 樽前山 GNSS連続観測による基線長変化（2005年1月～2022年6月）及び観測点配置図

グラフ①～⑤は観測点配置図の基線①～⑤に対応しています。

グラフ中の空白部分は欠測を示しています。

①、②の楕円内の変動（\*1）は2011年7月の機器更新によるものです。

②～④の楕円内の変動（\*2）は2014年7月8日に発生した胆振地方中東部の地震によるものです。

2010年10月（\*3）及び2016年1月（\*4）に解析方法を変更しています。

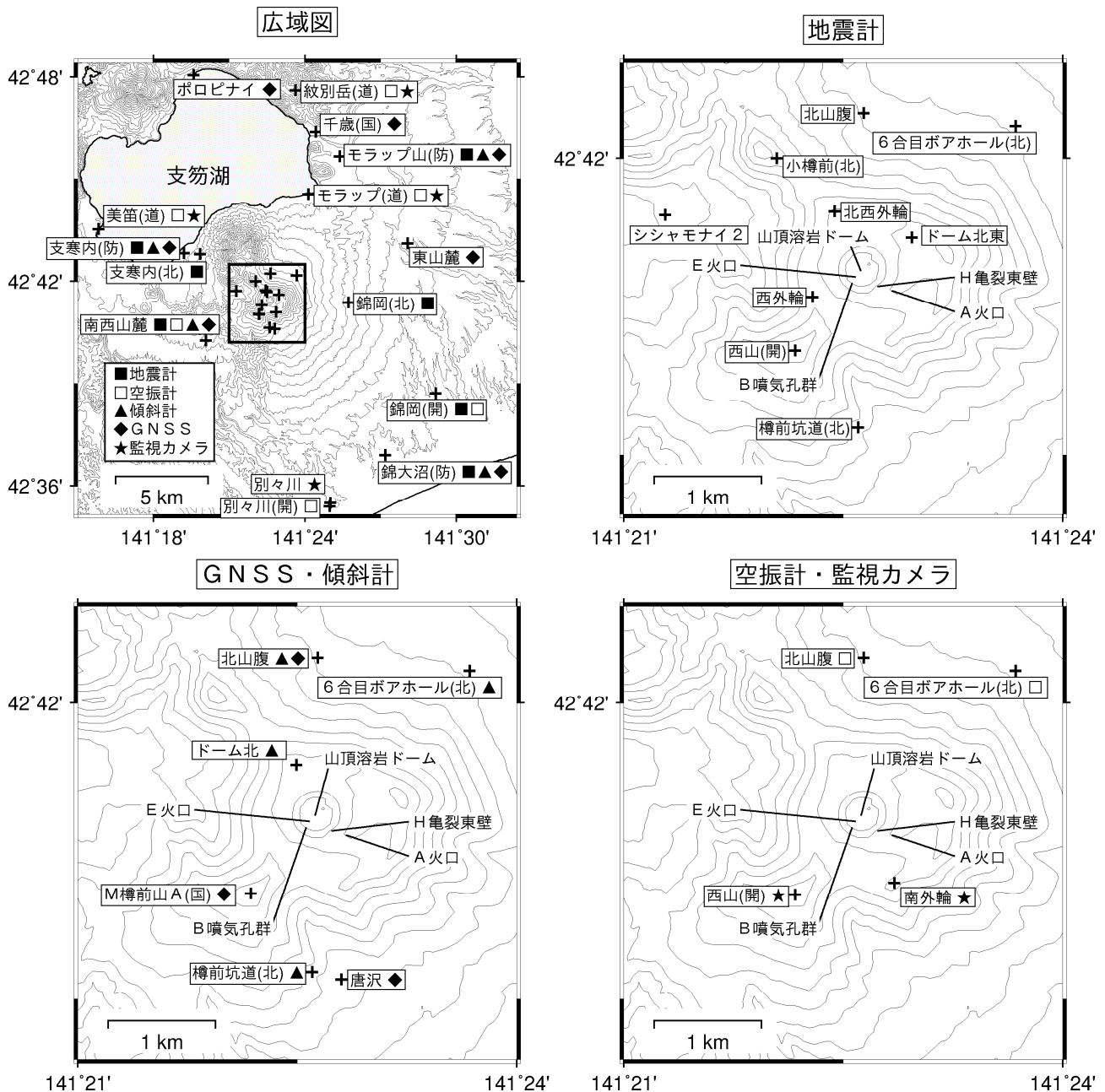


図8 樽前山 観測点配置図

各機器の配置図は、広域図内の太枠線で囲まれた領域を拡大したものです。

+印は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

- (開) : 国土交通省北海道開発局
- (国) : 国土地理院
- (北) : 北海道大学
- (防) : 国立研究開発法人防災科学技術研究所
- (道) : 北海道